

第 1 号議案 令和 7 年度事業計画の件

本法人の令和 7 年度の実業計画案を以下の通り提案いたします。精査のうえ承認を求めます。

I 基本方針

本法人は、2016年平成28年7月25日、一般財団法人として設立し、公益目的各事業等を着実にやってまいりました。この実績等により、2018年平成30年7月26日、北海道知事の法人第1280号指令で公益財団法人として認可されました。

本法人の事業は、定款第3条目的を令和5年12月6日に変更して、「この法人は、特別支援学校のスポーツ振興に関する事業及び児童養護施設に処遇されている小学生の学習支援を行い、児童生徒の健全な発達に寄与することを目的とする。」として、児童養護施設に処遇されている小学生への「寺子屋事業」を新たに行うことといたしましたが、公益財団法人日本ライオンズがこの「寺子屋事業」を推進していることから、令和7年度はこのことに係る事業化をせずに、公益財団法人日本ライオンズの「寺子屋事業」の推移を見守ることとしたい。

1 定款第 4 条 1 のフットサル等スポーツ活動の普及

1-1 スポーツ用品の寄贈

1-2 フットサル指導員の派遣

2 定款第 4 条 2 のフットサル等競技会の開催・助成

2-1 2023 第 7 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会 兼第2回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会の開催

3 定款第 4 条 3 のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定及び成果報告書の発行

4 定款第 4 条 4 の寺子屋事業での助成

4-1 児童養護施設に処遇されている小学生の学習支援を行う NPO 法人等への助成事業「寺子屋事業」は、公益財団法人日本ライオンズの同事業の推移を見守り、その状況を踏まえて事業化することを検討することといたします。

Ⅱ 事業計画

1 本法人が対象とする北海道の特別支援学校及び特別支援学級の状況

表1 北海道の特別支援学校73校(令和6年度)の校名

視覚障がい	
	● 北海道札幌視覚支援学校
	● 北海道函館盲学校
	● 北海道旭川盲学校
	● 北海道帯広盲学校
聴覚障がい	
	● 北海道高等聾学校
	● 北海道札幌聾学校
	● 北海道函館聾学校
	● 北海道旭川聾学校
	● 北海道室蘭聾学校
	● 北海道帯広聾学校
知的障がい	
	● 北海道雨竜高等養護学校
	● 北海道札幌高等養護学校
	● 北海道札幌稲穂高等支援学校
	● 北海道札幌あいの里高等支援学校
	● 北海道千歳高等支援学校
	● 北海道白樺高等養護学校
	● 北海道新篠津高等養護学校
	● 北海道小樽高等支援学校
	● 北海道伊達高等養護学校
	● 北海道今金高等養護学校
	● 北海道函館五稜郭支援学校
	● 北海道函館高等支援学校
	● 北海道北斗高等支援学校
	● 北海道旭川高等支援学校
	● 北海道美深高等養護学校
	● 北海道美深高等養護学校あいべつ校
	● 北海道小平高等養護学校
	● 北海道紋別高等養護学校
	● 北海道新得高等支援学校
	● 北海道中札内高等養護学校
	● 北海道中札内高等養護学校幕別分校
	● 北海道中標津支援学校
	● 市立札幌豊明高等支援学校
	● 北海道夕張高等養護学校
	● 市立札幌みなみの杜高等支援学校
	● 日本体育大学附属高等支援学校
	● 北海道美唄養護学校
	● 北海道南幌養護学校
	● 北海道札幌養護学校
	● 北海道札幌養護学校 共栄分校
	● 北海道札幌養護学校白樺高等学院
	● 北海道星置養護学校
	● 北海道星置養護学校ほしみ高等学園
	● 北海道札幌伏見支援学校
	● 北海道札幌伏見支援学校 もなみ学園分校
	● 北海道余市養護学校
	● 北海道余市養護学校 しりべし学園分校
	● 北海道室蘭養護学校
	● 北海道苫小牧支援学校
	● 北海道平取養護学校
	● 北海道平取養護学校 静内ベテカリの園分校
	● 北海道七飯養護学校
	● 北海道七飯養護学校 おしま学園分校
	● 北海道鷹栖養護学校
	● 北海道東川養護学校
	● 北海道稚内養護学校
	● 北海道北見支援学校
	● 北海道紋別養護学校
	● 北海道紋別養護学校 ひまわり学園分校
	● 北海道帯広養護学校
	● 北海道釧路養護学校
	● 国立大学法人北海道教育大学附属特別支援学校
肢体不自由	
	● 北海道岩見沢高等養護学校
	● 北海道真駒内養護学校
	● 北海道拓北養護学校
	● 北海道函館養護学校
	● 北海道旭川養護学校
	● 北海道網走養護学校
	● 札幌市立豊成養護学校
	● 札幌市立北翔養護学校
病弱	
	● 北海道手稲養護学校
	● 北海道手稲養護学校三角山分校
	● 市立札幌山の手支援学校
聴覚・知的	
	● 北海道釧路鶴野支援学校

また、道内特別支援学校で学ぶ幼児児童生徒は5,965名となっております。

北海道内の特別支援学級は、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害の各学級、4,917学級に20,360名の児童生徒が学んでいる。

3 定款第4条1「フットサル等スポーツ活動の普及」 予算150万円

3-1 「スポーツ用品の寄贈」 予算120万円

令和6年度実績は、38校、1,014,865円でした。令和7年度は、1校3万円程度40校、約120万円を想定している。

寄贈用品のメニュー

	メーカー	商品		数量	販売価格(税込)	金額(税込)
Aセット	ガビック	ゲームベストSET	GA9110※2	2	8,624	17,24
	モルデン	フットサルボール4号球	F9Y2521※1	2	3,168	6,33
		送料		1	2,600	2,60
					合計(税込)	26,18
※1:F9Y2521 or F9Y2522 で在庫のある商品 ※2:4色の中 から在庫のあるカラーで2SET(色違い)						
	メーカー	商品		数量	販売価格(税込)	金額(税込)
Bセット	ガビック	ゲームベストSET(ジュニア用)	GA9610※2	1	8,360	8,36
	ガビック	ゲームベストSET	GA9110※2	1	8,624	8,62
	モルデン	フットサルボール3号球	F8A3000	1	4,312	4,31
	モルデン	フットサルボール4号球	F9Y2521※1	1	3,168	3,16
		送料		1	2,600	2,60
※1:F9Y2521 or F9Y2522 で在庫のある商品 ※2:4色の中から在庫のあるカラーで大人サイズ1SET、ジュニアサイズ1 SET…大人サイズとジュニアサイズの色は変わります						
Cセット	サンラッキー	ポッチャゲーム用ボールセット	SRP520(SET)	1	24,200	24,20
		送料		1	2,600	2,60
					合計(税込)	26,80
	メーカー	商品		数量	販売価格(税込)	金額(税込)
Dセット	エバニュー	ティーボールSETコンディ(12インチ)	ETE225	1	27,280	27,28
	エバニュー	ティーボールスベアビッグヘッド	ETE028	1	1,155	1,15
		送料		1	2,600	2,60
合計(税込) 31,03						
	メーカー	商品		数量	販売価格(税込)	金額(税込)
Eセット	サンラッキー	サポートスティック	RSP100	3	8,360	25,08
		送料		1	2,600	2,60
合計(税込) 27,68						
	メーカー	商品		数量	販売価格(税込)	金額(税込)
Fセット	トーエイライト	ソフトモールドコーナーポイント	G1016	2	11,990	23,98
		送料		1	3,800	3,80
合計(税込) 27,78						

寄贈用具のリスト

フットサルボール4号球

※ スポット商品の為、ご注文時に下記の中で在庫のある商品とさせていただきます



フットサルボール3号球



ヴァンタジジョ3号フットサル3000
品番: F8N3000
¥5,390 (税別価格 ¥4,900)



ピブセット 素材: ポリエステル・メッシュ
GA9110 ¥10,780 (税別 ¥9,800) サイズ: XL フリー
GA9610 ¥10,450 (税別 ¥9,500) サイズ: 150 フリー

※ Aセット: 4色の中から在庫のあるカラーで2SET(色違い)

※ Bセット: 4色の中から在庫のあるカラーで大人サイズ1SET、
ジュニアサイズ1SET
大人サイズとジュニアサイズの色は変わります

ETE225 12インチ ¥24,800(税込¥27,280) 5.7kg

※ 赤黒バット1本、赤黒バット1本、青黒バット1本、バットングタイ1台、ボール6個 (ETE224は11インチ・ETE225は12インチ)

共通項目: ●ベース長さ41.5cm×幅41cm×厚さ1.7cm ●材質: ベース、バットングタイ、ヘッド: ゴム、バット外殻: ポリウレタン、バット芯材: FRP、ボール: ポリウレタン ●台湾製



ティーボールセットコンビ

ETE225 12インチ ¥26,200(税込¥26,820) 5.7kg [A]

●赤黒バット1本、青黒バット1本、黒黒バット1本、ティーボールスタンド1台、スベアビグヘッド1本、ボール6個 (ETE224は11インチ・ETE225は12インチ)

共通仕様 ●ベース高さ41.5cm×幅41cm×厚さ1.7cm ●材質：ティーボールスタンド・ヘッド：ゴム、バット：竹製、スベアビグヘッド：PP、ボール：ポリウレタン ●台湾製

組立

大きいボールを使って当てる楽しさを覚えよう



ETE028 ティーボールスベアビグヘッド

¥1,100(税込¥1,210) / 個

●長さ26cm ●重量：170g ●材質：クバー ●ボール受け部直径5.5cm ●台湾製

「安心」「安全」に配慮した
ポリウレタン一体成型コーナポイント
当たっても痛くないやわらか素材



屋内外用

G-1016 ソフトモールドコーナポイント ¥15,950(税別¥14,500) [4]

●長さ1個のみ、青・緑・黄・オレンジ・紫各1本1 ●高さ31cm×底部20cm(内径)・頂部穴径3.8cm ●300g/本 ●ポリウレタン ●台湾製

RSP-100

サポートスティック

¥8,800 (税込価格¥9,000)



長さ調節可
子供の方やかがむのが
困難な方にご使用頂けます。



スライド部分だけで簡単に調整できます。

レクリエーション用ポッチャ

パキスタン製のポッチャは直径・重量が国際競技規格適合品と同じで、
価値でありながら本格的なポッチャゲームが楽しめます。



SRP-520 SET

ポッチャゲーム用ボールセット

¥28,600 (税込価格¥29,000)

ボール 12 (レッド6、ブルー6)、ジャック 1、
クロスシート 1、バッグ付
ボール：直径約 86mm、重量約 275g、
合成皮革、ボールの裏面：エポキシ樹脂・ハード
増設サイズ：39×33×11cm
重量：約 5kg パキスタン製

3-2 「フットサル指導員の派遣」

予算 30万円

令和6年度のフットサル指導員の派遣事業は、一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブの協力により実施することができた。2025年令和7年度においても、派遣希望先の日程調整等を札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会に依頼して実施したい。

この特別支援学級「チャレンジ・フットサル」のフットサル指導については、2025年令和7年度事業として、前年度同様に20学級の実施を行いたい。

2025年令和7年度 チャレンジ・フットサル実施要項

1. 主 旨 札幌市特別支援学級を対象にボールを使った“遊び”やゲームを取り入れ、多くの子どもたちに笑顔でフットサルを楽しむ機会をつくり、子どもたちの心身の健やかな育成に寄与する。
2. 主 催 公益財団法人明日佳
3. 主 管 一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブ
4. 後 援 札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
5. 実施期間 令和7年9月～令和8年3月末頃まで
6. 時 間 1 単位時間(小学校 45 分間、中学校 50 分間)
7. 対 象 札幌市小・中学校 20 校の特別支援学級
8. 場 所 各学校体育館等施設
9. 実施内容 エスポラーダ北海道は、児童生徒が笑顔になるよう指導します。
 - 1) 準備運動
 - 2) 動き作りの運動
 - 3) ボールを使った遊び方
 - 4) フットサルゲームの実施 等※屋内、屋外を問わずあまり広くないスペースでも実施できます。
※暑い時、寒い時など子どもたちの健康を十分に考慮します。
10. 用 具
 - 1) ボール等は、持参します。
 - 2) ビブスは、各学校で用意してください。
11. 費 用 無料、公益財団法人明日佳が負担します。
12. 申 込 先 所定の申込書でエスポラーダ北海道にメールでお申し込みください。
エスポラーダ北海道 広報担当：武田
メールアドレス：info@espolada.com
13. 申込期日 本実施概要到着日から5月30日（金）まで
14. そ の 他 ・実施日程及び実施学級数は、申込を受けて札幌特協とエスポラーダ北海道とで協議します。
・活動後は、各学校担任等の方は、A4 版 1 枚程度の「札幌市特別支援学級『チャレンジ・フットサル』活動記録」を、エスポラーダ北海道に送付します。
なお、この活動記録は、主催者法人・エスポラーダ北海道の公式ホームページで開示しますので、写真は、個人情報に留意し、編集等してください。

4 定款第4条2「フットサル等競技会の開催・助成」

予算 280 万円

この事業は、2024第8回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会兼第3回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会として開催した。2024年度大会は、道立野幌総合運動公園総合体育館に併設する合宿所を使用できたので、宿泊費が大幅に割愛することができた。

しかし、令和7年度、2025年第9回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会開催においては、全道中学校水泳大会が同期日に開催することから、競技会場に併設する合宿所の使用が限定されることから、現在、(公財)北海道サッカー協会所有合宿施設「ゆめきたれ」での宿泊を予定している。加えて、各校所在地からのバス借上代等の交通費の値上がりも予想されることから、移動助成、宿泊費の増加が予想される。

参加校は、障がいの重たい義務併置校の参加増を見込んで、25校を予定している。

このことから、総額280万円を予定している。

令和4年、5年、6年度支出と令和7年度予算の対比

区 分	令和4年度支出 15校参加	令和5年度支出 19校参加(台湾2 校参加)	令和6年度支出 20校参加	令和7年度 25校参加予定 の予算案
各学校の移動助成費・宿泊	1,371,430円	2,026,750円	1,103,962円	1,500,000円
運営役員、審判等の謝金	310,261円	789,186円	767,759円	800,000円
食糧費(昼食等)	318,034円	540,780円	200,000円	250,000円
消耗品・雑費	219,998円	67,053円	148,023円	250,000円
総計	2,219,723 円	3,423,769円	2,219,744円	2,800,000 円

(3) 野幌駅及び「ゆめきたれ」から競技会会場までの移動

第9回小野寺眞悟杯大会も、令和6年度以降引き続いて江別市教育委員会のご支援を頂いた移動手段を予定している。

江別市教育委員会は、民間バス会社に委託して、野幌駅と競技会会場間、また札幌市東区の「ゆめきたれ」と競技会会場間をバスでの移動の利便を図ってくれるとの予定としている。

5 定款第4条3「フットサル等スポーツ活動の調査・研究」

予算 60万円

令和6年度は、4校に対して1校10万円、計40万円の研究助成を行った。

印刷・製本は、約10万円分の教材等費を印刷・製本の実習として依頼した北海道小樽高等支援学校が指定した教材業者に振込み、300部印刷した。この合計は50万円であった。

令和7年度は、助成対象校を5校を予定して、1校10万円の実践研究助成を継続化するとともに、印刷・製本は、これまでと同様に北海道小樽高等支援学校の実習として依頼し、令和6年度同様に実習関係の必要消耗品10万円の寄贈としての対応で実施したい。

したがって、本事業費は、60万円の予算といたしたい。

第2号議案 令和7年度収支予算の件

令和7年度の収支予算案は以下の通りです。精査の上、承認を求めます。

正味財産増減予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息			0
受取寄付金	7,630,000	6,300,000	1,330,000
受取寄付金			0
受取寄付金振替額	7,630,000	6,300,000	1,330,000
雑収益	0	0	0
受取利息			0
雑収益			0
経常収益計	7,630,000	6,300,000	1,330,000
(2) 経常費用			
事業費	4,900,000	4,100,000	800,000
1 スポーツ活動の普及	1,500,000	1,000,000	500,000
支払助成金	1,200,000	800,000	400,000
旅費交通費	300,000	200,000	100,000
諸謝金			0
2 競技会の開催・助成	2,800,000	2,500,000	300,000
支払助成金	1,500,000	1,100,000	400,000
諸謝金	800,000	600,000	200,000
表彰費	50,000	150,000	△ 100,000
食糧費	250,000	500,000	△ 250,000
印刷費	70,000	100,000	△ 30,000
消耗品費	100,000	20,000	80,000
保険料	30,000	30,000	0
3 スポーツ活動の調査・研究	600,000	600,000	0
支払助成金	500,000	500,000	0
印刷費	100,000	100,000	0
管理費	2,710,000	2,200,000	510,000
役員報酬	100,000	120,000	△ 20,000
給料手当	1,800,000	1,200,000	600,000
旅費交通費	200,000	260,000	△ 60,000
委託費	200,000	180,000	20,000
租税公課	10,000	10,000	0
食糧費	150,000	200,000	△ 50,000
支払手数料	200,000	150,000	50,000
通信費	30,000	30,000	0
消耗品費	20,000	50,000	△ 30,000
予備費	0	0	0
経常費用計	7,610,000	6,300,000	1,310,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	20,000	0	20,000

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	20,000	0	20,000
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 20,000	20,000
一般正味財産期首残高	1,016,016	1,036,016	△ 20,000
一般正味財産期末残高	1,016,016	1,016,016	0
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息			0
受取寄付金	7,630,000	6,300,000	1,330,000
受取寄付金	7,630,000	6,300,000	1,330,000
一般正味財産への振替額	△ 7,630,000	△ 6,300,000	△ 1,330,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	51,016,016	51,016,016	0

正味財産増減予算書 内訳書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目		公益目的事業会計							内部取引消去	合計
		スポーツ活動 の普及事業 (公1-1)	競技会の開催 助成事業 (公1-2)	スポーツ活動 の調査・研究 事業（公1- 3）	寺子屋事業で の助成 (公1-4)	共通	小計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益		0	0	0	0	0	0	0		0
基本財産受取利息							0			0
受取寄付金		0	0	0	0	4,900,000	4,900,000	2,730,000		7,630,000
受取寄付金							0			0
受取寄付金振替額						4,900,000	4,900,000	2,730,000		7,630,000
雑収益		0	0	0	0		0	0		0
受取利息							0			0
雑収益							0			0
経常収益計		0	0	0	0	4,900,000	4,900,000	2,730,000	0	7,630,000
(2) 経常費用										
事業費		1,500,000	2,800,000	600,000	0	0	4,900,000	0		4,900,000
支払助成金		1,200,000	1,500,000	500,000			3,200,000			3,200,000
旅費交通費		300,000					300,000			300,000
諸謝金			800,000				800,000			800,000
表彰費			50,000				50,000			50,000
食糧費			250,000				250,000			250,000
印刷費			70,000	100,000			170,000			170,000
消耗品費			100,000				100,000			100,000
保険料			30,000				30,000			30,000
管理費		0	0	0	0	0		2,710,000		2,710,000
役員報酬								100,000		100,000
給料手当								1,800,000		1,800,000
旅費交通費								200,000		200,000
委託費								200,000		200,000
租税公課								10,000		10,000
支払手数料								200,000		200,000
通信費								30,000		30,000
食糧費								150,000		150,000
消耗品費								20,000		20,000
予備費										0
経常費用計		1,500,000	2,800,000	600,000	0	0	4,900,000	2,710,000		7,610,000
評価損益等計		0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額		△ 1,500,000	△ 2,800,000	△ 600,000	0	4,900,000	0	20,000		20,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用										
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額		△ 1,500,000	△ 2,800,000	△ 600,000	0	4,900,000	0	20,000		20,000
法人税、住民税及び事業税							0	20,000		20,000
当期一般正味財産増減額		△ 1,500,000	△ 2,800,000	△ 600,000	0	4,900,000	0	0		0
一般正味財産期首残高										1,016,016
一般正味財産期末残高										1,016,016
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										0
基本財産受取利息										
受取寄付金										7,630,000
受取寄付金										7,630,000
一般正味財産への振替額										△ 7,630,000
当期指定正味財産増減額										0
指定正味財産期首残高										50,000,000
指定正味財産期末残高										50,000,000
III 正味財産期末残高										
										51,016,016